

### 本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
<b>2017年</b>			
9月 11日(月)～14日(木)	The 7 <sup>th</sup> IWA - ASPIRE Conference 2017 & Water Malaysia Exhibition 2017 国際水協会－アジア太平洋地域グループ 2017地域会議 (クアラルンプール)	マレーシア	40巻8号
17日(日)～21日(木)	The International Society for Ecological Modelling Global Conference 2017 (国際生態モデリング学会)	韓国	40巻5号
24日(日)～28日(木)	ISPTS2017「残留性有害物質に関する国際会議」 International Symposium Persistent Toxic Substances	愛知	40巻4号
26日(火)～28日(木)	第20回日本水環境学会シンポジウム	和歌山	本号
27日(水)～29日(金)	第5回初歩からの化学工学概論	名古屋	本号
10月 6日(金)	第32回市民環境学校『水道技術講座(7)』	東京	本号
23日(月)	日本水環境学会産官学協力委員会主催第32回見学会	神奈川	本号
25日(水)	水環境分野で活躍する女性の仕事や働きぶり紹介－日本ミクニヤ(株)訪問－〈日本水環境学会関東支部〉	神奈川	本号
27日(金)	平成29年度日本水環境学会関東支部見学会のご案内 水の里を訪ねて～サントリー白州蒸留所ほか～	山梨	本号
11月 3日(金)～4日(土)	2017年度日本水環境学会東北支部セミナー 福島県の水環境問題とその課題解決に向けた取り組み	福島	本号
8日(水)～10日(金)	日本水処理生物学会第54回大会 (大阪大会)	大阪	本号
9日(木)	アクア・イノベーション拠点 第5回シンポジウム in Tokyo	東京	本号
9日(木)～12日(日)	第23回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	沖縄	本号
15日(水)～17日(金)	2017 International Environmental Engineering Conference (IEEC 2017)	済州島 (韓国)	本号
16日(木)～17日(金)	第31回日本吸着学会研究発表会	静岡	40巻8号
16日(木)～17日(金)	日本腐植物質学会第33回講演会	山口	本号
21日(火)	第23回膜分離技術セミナー	東京	本号
12月 6日(水)～8日(金)	第44回炭素材料学会年会	東京	本号
7日(木)～8日(金)	第17回上下水道膜セミナーおよび膜処理施設見学会	熊本	本号
<b>2018年</b>			
3月 15日(木)～17日(土)	第52回日本水環境学会年会	札幌	本号
7月 14日(土)～15日(日)	WET2018 (Water and Environment Technology Conference 2018)	愛媛	
9月 4日(火)～6日(木)	第21回日本水環境学会シンポジウム	島根	
16日(日)～21日(金)	IWA World Water Congress & Exhibition 2018	東京	本号
10月 15日(月)～19日(金)	第17回世界湖沼会議 (いばらき霞ヶ浦 2018)	茨城	
<b>2019年</b>			
3月	第53回日本水環境学会年会	山梨	

## 平成 29 年度学生会員の募集について

本会では、ただ今平成 29 年度学生会員を募集しております。入会ご希望の方は下記によりお申し込みください。

**申込方法** 本会ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) からお申し込みください。

### 学生会員制度の概要

#### (1) 会員資格

大学生、大学院生、研究生等で、セミナー・講演会・年会・シンポジウムへの参加を目的とするもの。会員の有効期間は平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで。なお、本年 3 月の時点で学生会員であった方でも、3 月 31 日で会員資格が失効しています。継続希望の方は、再度、入会申し込みが必要です。学生会員の会員番号の最初の 2 桁は会員資格の年度（西暦 2 ケタ）を示します。

#### (2) 会費および支払い方法

年間 5,200 円。支払いはお申し込みと同時に行ってください（入金確認後、入会の承認手続きを経た後に正式な会員番号をお知らせします）。

#### (3) 機関誌

平成 28 年度から、学生会員への学会誌の無償配布は無くなり、希望者に頒布することとなりました。学会誌をご希望の学生会員は、入会時に学会事務局 ([member@jswe.or.jp](mailto:member@jswe.or.jp)) に希望送付先を連絡の上、学生会員用の学会誌代 3,600 円をご入金ください。ご入金が確認された月以降の学会誌が送付されます（バックナンバーの送付はありません）。入会時以降の頒布希望の変更は受け付けられません。入会申込・入金時期によっては、会誌が在庫切れとなることもありますのでご了承ください。

## 第 52 回日本水環境学会年会への発表・参加申し込みを予定される方へ（入会案内）

2018 年 3 月 15 日（木）～17 日（土）に北海道札幌市にて第 52 回日本水環境学会年会が開催されます。年会での発表申し込みはインターネットによる申し込みのみとなっております。また、発表申し込みの際に会員資格確認があり、会員資格のない方および入会手続き中の方の発表申し込みは受け付けられません。（発表申し込み開始は 9 月 20 日（水）予定です。）

年会発表予定者は 2017 年 10 月 31 日（火）までに入会申し込み手続きを済ませ、会員番号を取得してください。（インターネットでの入会申し込み手続き、年会会費の入金確認後、入会が承認されるまで会員番号は発行されませんので、お気をつけください。）

また、年会参加予定者につきましては、2018 年 2 月 13 日（火）までに同様の入会申し込み手続きをしていただければ会員価格でご参加いただけます。

入会案内 URL：<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>

なお、発表申し込み締め切りは 11 月 20 日（月）24:00 です。

### 本会関連行事

#### 第 20 回日本水環境学会シンポジウム 参加申し込み案内

第 20 回日本水環境学会シンポジウムを下記の要領で開催いたします。各研究委員会のセッション、本部企画、特別講演会（関西支部企画）のほか、大学院博士後期課程レベルの研究奨励を目的とした若手研究紹介（オルガノ）セッション、年間優秀論文賞（メタウォーター賞）の受賞者講演、テクニカルツアーなど、多彩な企画も用意されています。非会員の方も参加できますので、大勢

の方のご参加を期待しております。

#### 1. 概 要

**期 日** 2017 年 9 月 26 日（火）～28 日（木）（28 日（木）はテクニカルツアー「紀の川の水環境」）

**会 場** 和歌山大学（〒640-8510 和歌山市栄谷 930）  
(<https://www.wakayama-u.ac.jp/about/access.html>)

**交 通** 南海本線和歌山大学駅から徒歩約 20 分  
JR 和歌山駅からバスで約 30 分

#### 2. 内 容

**特別講演会「紀の川の水環境」**（関西支部企画）  
参加申し込み、および参加費は不要

- 26日(火)午前(10:30~12:30)  
 1) 大滝ダム 京都大学 角 哲也氏  
 2) 紀の川の灌漑 日本大学 西山孝樹氏  
 3) 紀の川大堰 国土交通省近畿地方整備局  
 駒口誠治氏

**若手研究紹介(オルガノ)セッション(発表審査)**

26日(火)9:00~12:30

**年間優秀論文賞(メタウォーター賞)受賞者講演**

26日(火)17:10~17:50

**研究委員会,本部企画,支部企画セッション**

26日(火)午後(13:30~17:00)

水処理システムの革新に向けた取り組み  
 (産業排水の処理・回収技術 研究委員会)

省エネ・低炭素化に資する嫌気性微生物処理技術  
 (嫌気性微生物処理研究委員会)

湿地・沿岸域の環境動態と生態系の理解に向けて  
 (湿地・沿岸域研究委員会)

将来の水環境の変化と水供給の課題  
 (将来の水環境変化に対応した  
 水供給システム研究委員会)

環境技術実証事業で実証した水質浄化等技術  
 (本部企画)

電気化学的技術の環境プロセスへの応用  
 (電気化学的技術研究委員会)

環境汚染物質とMS分析 (MS技術研究委員会)  
 いますぐできる網羅解析  
 (微生物生態と水環境工学研究委員会)

27日(水)午前(9:00~12:30)

健康関連微生物制御の新技术・新展開  
 (水中の健康関連微生物研究委員会)

紫外線的水処理技術のミカタ  
 (紫外線を利用した水処理技術研究委員会)

あらためて身近な生活環境を考える  
 (身近な生活環境研究委員会)

ノンポイント汚染研究の設計概念と手法  
 (ノンポイント汚染研究委員会)

農産業に関わる水・バイオマス利用技術の新たな展開  
 (農産業に関わる水・バイオマス循環技術研究委員会)

27日(水)午後(13:30~17:00)

紀の国,水の国-紀の国を育む水とその歴史・文化-  
 (関西支部セッション)

流域規模での化学物質管理:測定手法と影響評価  
 (水環境と洗剤研究委員会)

有機性排水処理における自動制御システム導入による  
 高度処理電力削減 WIN-WIN 国際化

(生物膜法研究委員会)  
 膜の適用拡大に向けた最新技術動向  
 (膜を利用した水処理技術研究委員会)

生態毒性試験の標準化  
 (バイオアッセイによる安全性評価研究委員会)

熱帯亜熱帯地域における水処理技術の特性と展望  
 (熱帯・亜熱帯地域水環境研究委員会)

土壌地下水汚染問題の最新動向  
 (土壌地下水汚染研究委員会)

システムとして評価することを考える  
 (システム解析研究委員会)

**懇親会** 9月26日(火)18:00~20:00

和歌山大学 GENKI 食堂, 講演会場隣

**テクニカルツアー「紀の川の水環境」**

期日 9月28日(木)8:30~17:00

参加費 2,000円(予定), 昼食・保険料等

内容 巨大ダム(大滝ダム:紀の川上流)による河川水質への影響, 工業用水・飲料水の確保のための環境保全型の堰(紀の川大堰:紀の川下流), 平安時代から続く紀の川の灌漑水路(紀の川中流)について, 技術的な観点から紀の川の上流から下流まで巡検して議論を深めます。水環境学会誌7月号特集は「紀の川の水環境」であり, 本テクニカルツアーの背景理解の一助となる情報を提供します。

問い合わせ先: 第20回シンポジウムテクニカルツアー  
 担当(和歌山大, 谷口)

E-mail: excursion@jswe.or.jp

**3. 参加申し込み案内**

すでに研究発表を申し込まれた方も, 改めて参加申し込みが必要です。なお, 学生会員とは, 学会に本年度の学生会員として登録を済ませた方の意味です。

シンポジウム参加費および懇親会参加費

シンポジウム参加費	予約申込	当日申込
本会会員(不課税)	5,000円	6,000円
学生会員(不課税)	3,000円	4,000円
非会員(税込み)	18,000円	19,000円
学生非会員(税込み)	8,000円	9,000円
懇親会費*(税込み)	3,500円	4,000円

\*参加者に同伴して懇親会に参加する  
 家族(小学生以下)は無料

**4. ホテルと交通手段について**

宿泊施設の案内・斡旋等行いませんので, 各自で手配願います。

**5. 託児施設**

学内に託児施設を開設します。ご利用をご検討の方は, takuji@jswe.or.jp までご連絡ください。

**6. 連絡・問合せ先**

(公社)日本水環境学会 シンポジウム係

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352  
E-mail : nenkai@jswe.or.jp

※本年度より8月号巻末のシンポジウム案内（ピンクページ）は廃止され、同様の内容を学会HPに掲載することになりました。

詳細 URL <https://www.jswe.or.jp/event/symposium/index.html>

## 第52回日本水環境学会年会 研究発表申し込み等案内

第52回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。可否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

### 1. 概要

内容 一般研究発表

(口頭発表とポスター発表のセッション)

期日 2018年3月15日(木)～17日(土)3日間

会場 北海道大学工学部

〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目

交通 JR札幌駅から徒歩約20分

詳細は <http://www.eng.hokudai.ac.jp/access/>

### 2. 一般研究発表の募集

内容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果  
応募資格 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)は正会員(個人正会員, 団体正会員)および学生会員とします。登壇予定者は2017年10月31日(火)までに、本会ホームページ(<https://www.jswe.or.jp/guest/entry.php>)より入会申込手続きを済ませてください。会費の入金が確認された後、入会が承認されると会員番号が発行されます。仮会員番号のままでは発表申込はできません。

1名が2つ以上の演題に関して登壇者(ポスター発表の代表発表者含む)となることはできません。

### 申し込み方法

1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみです。ホームページ(<http://www.jswe.or.jp/>)の当該バナーから第52回日本水環境学会年会発表申込ページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。送信完了後に、受付番号が自動返信されます。パソコンの機種によっては、返信に時間がかかることがあります。1日以上たっても返信のない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申込画面を開いて

操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申込画面を複数開かないようにしてください。

2) 申し込み期間は2017年9月20日(水)～11月20日(月)24:00です。締切日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。

3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は17で始まり最後にSのつく5桁の数字です。「本登録完了のお知らせ」メールに記載されています。仮会員番号では登録できません。

発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。

4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。2017年度から、分類に若干の変更があります。最新の分類にしたがってください。

5) 発表形式の希望(口頭発表, ポスター発表, どちらでも可)を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。2017年度は、一般ポスター発表は1日目か2日目のどちらかみのポスター掲載(コアタイム)になります。

6) 発表申込・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申込を日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申込を英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。

7) 申し込み時の発表題目, 発表者名, 発表要旨は、受付後に変更することはできません。申し込み内容は各自でお控えのうえ、講演集原稿の題目, 発表者名は申し込み時と同じにしてください。「発表申込受付完了のお知らせ」メールにも記載されています。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ, 氏名(フリガナ, 漢字)の間違いについても十分ご留意のうえ、間違いがあった場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jpに速やかにご連絡ください。

8) 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、共同発表者に限ります。必ず事前にご連絡ください。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

### 発表形式・発表時間

1) 口頭発表はすべてMicrosoft PowerPointでの発表となります。詳しくは、ホームページ

<http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html>

に掲載の「口頭発表（プロジェクター使用）要領」，「ポスター作成および発表要領」をご覧ください。

- 2) 口頭発表は1演題につき15分（発表10分，質疑応答5分）を予定しています。
- 3) ポスター発表は年会開催期日の指定時間内に掲示いただきます。討議時間も予定しています。**2017年度は，一般ポスター発表は1日目か2日目のどちらかのみ**のポスター掲載（コアタイム）になります。なお，会場の都合上，パソコン等のOA機器を利用したポスター発表は受け付けません。

#### 年会優秀発表賞（クリタ賞）

博士前期課程（修士課程）の大学院生による研究発表のうち，とくに優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表（2次審査）は年会**2日目のみ**におこなわれます。2次審査は従来とは異なり，審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式となりました。

#### 年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）

学部生，高等専門学校生（高専生），短大生によるポスター発表のうち，とくに優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会**初日のみ**におこなわれます。従来とは異なり，審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式となりました。

#### 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 第52回年会係  
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤201号  
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

#### 3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿（講演要旨原稿）を作成していただきます。**原稿書式**はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

**作成方法** 原稿枚数はA4判1枚（図表も含む）とします。

**提出方法** 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

**個人会員（会員専用ページ）：**  
(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

**団体会員：**  
(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

**提出期限** 2018年1月18日（木）アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

**著作権** 講演集に掲載された要旨の著作権は，本会に帰属します。

#### 4. 講演集の電子化について

2015年度（第50回）から，日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル（ダウンロード方式）版が標準になりました。講演集の公開日（発行日）は年会開催日の1週間前を予定しています。年会会場での印刷サービスは

ありません。ただし，プログラム等については冊子版を用意しています。なお，追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

#### 5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は，本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

#### 6. 研究集会について

年会期間中に行う場合は，会場内に場所を確保いたしますので下記にお問い合わせください。

研究集会についての問い合わせ先

佐藤久，北海道大学

E-mail：qsatoh@eng.hokudai.ac.jp

#### 7. 特別講演のご案内

講師として横井成尚氏（サッポロビール株式会社 取締役 執行役員），西川浩一氏（ニッカウキスキー北海道工場長）の講演を予定しています。

**期 日** 2018年3月16日（金）15:00～16:15

**会 場** 北海道大学工学部（年会会場）

**参加費** 無料（日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。）

#### 8. 懇親会について

懇親会の開催概要は以下の通りです。皆様奮ってご参加ください。

**日 時** 2018年3月16日（金）18:30～20:00

**会 場** キリンビール園 本館 中島公園店  
（札幌市中央区南10条西1丁目1-60）  
地下鉄南北線中島公園駅1番出口徒歩2分  
<http://www.kirinbeer-en.co.jp/>

#### 9. 保育室の設置

会場から徒歩約10分のところにある保育所を無料で利用いただけます。お問い合わせ・お申込みは [takuji@jswe.or.jp](mailto:takuji@jswe.or.jp) までお願いします。

#### 10. 見学会のご案内

特別講演の内容と関連した場所を見学していただきます。

コース1 サッポロビール北海道工場  
（北海道恵庭市戸磯542-1）

コース2 ニッカウキスキー北海道工場余市蒸溜所  
（北海道余市郡余市町黒川町7-6）

**日 時** 学会期間中の3日間全日の午後

**交通手段** JR

お問い合わせ・申し込み

E-mail：excursion@jswe.or.jp

#### 11. 宿泊のご案内

宿泊の斡旋は行っておりません。

札幌市内は慢性的に混みあう恐れがありますので，早めの手配をお願いします。

#### 12. 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会 第52回年会係

Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

別表 水環境学会年会 研究発表分類表

大分類/ General classification カテゴリー/Category	中分類/Middle classification フィールド、メソドロジー/ Field, Methodology	分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例)	Examples of Keywords
A 水環境 Water environment	1 河川 river	有機物, 栄養塩類, 懸濁物質, 無機イオン, 重金属, 内分泌攪乱物質, 農薬, 微量化学物質, 汚濁負荷, ポイント・ノンポイントソース, 溶存酸素, 界面活性剤, 変異原性物質, アオコ, 富栄養化, 植物プランクトン, 動物プランクトン, 底質, 汽水域, 干潟, 藻類, 赤潮, 貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
	2 湖沼 lake		
	3 海域・沿岸 sea/coast		
	4 湿原 estuary, wetland		
	5 湧水 spring, sour water		
	6 流域・流域管理 watershed/ watershed management	水資源, 循環利用, 地下水, 排出負荷測定, 排出源推定, 排出負荷削減, 水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
	7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝, 魚類, 水生植物, 海草, 海藻, 生物濃縮, 食物連鎖, 藻場, ベントス, 微生物生態, 生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
	8 指標 index	総合指標, 理化学的指標, 生物指標, 健康関連微生物, 環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
	9 モデル model	水質, 生態系, 流出, 浄化予測, 汚濁負荷推定, 水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
	10 自浄作用 self-purification	自然浄化, 浄化機構, 富栄養化, 水理, 水文, 直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrofication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
	11 気候変動 climate change	地球温暖化, 局地的豪雨, 浸水/災害対策, 渇水, 調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
	12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス, 生態系機能, 自然資本, グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
	13 その他 others		
B 土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌, 地下水, 硝酸, 揮発性有機化合物, 重金属, ヒ素, 水理, モデル, バイオレメディエーション, 微生物, 活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
	2 浄化技術 remediation technology		
	3 その他 others		
C 上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源, 有機物, 重金属, 微量化学物質, 農薬, 濁度, 臭気物質, 凝集沈殿, ろ過, 吸着, オゾン, 紫外線, 膜, 消毒, 健康関連微生物, 消毒副生成物, 給配水, 再増殖, 気候変動, リスク評価, リスク管理, 水質事故など	water source, organic matter, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
	2 浄水処理・管理 water treatment/management		
	3 水質評価 water quality evaluation		
	4 再生水 reclaimed water		
	5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
	6 その他 others		
D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法, オキシデーションディッチ法, 膜分離活性汚泥法, 生物ろ過法, 生物活性炭, 固定化担体, グラニュール法, UASB法, メタン発酵, 嫌気性消化, 凝集沈殿, ろ過, 吸着, 浮上分離, 膜, オゾン, 塩素, 紫外線, 電解処理, 促進酸化処理, 消毒副生成物, 健康関連微生物,	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
	2 生物膜法等 biofilm process		
	3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4	物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc), direct purification, constructed wetland, etc.
	5	化学処理 chemical treatment		
	6	消毒 disinfection		
	7	生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
	8	人工湿地 constructed wetland		
	9	その他 others		
E 排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1	微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/ persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリップング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PPCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
	2	窒素・リン nitrogen/phosphorus		
	3	金属類 metals		
	4	塩分除去 desalting		
	5	高濃度有機物 highly-concentrated organics		
	6	その他 others		
F 排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1	下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
	2	工場排水 industrial wastewater		
	3	食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
	4	その他 others		
G 排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1	生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
	2	物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
	3	遺伝子解析 genetic analysis		
	4	その他 others		
H 排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment - wastewater recovery, Low carbon, other	1	排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
	2	省エネ・創エネ energy conservation/ energy production		
	3	地球温暖化 global warming		
	4	微細藻類 microalgae		
	5	その他 others		
I 汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/ Waste treatment	1	汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
	2	廃棄物処理 waste treatment		
	3	バイオマスエネルギー変換、 バイオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/ Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水、河川、地下水、湖沼、海域、浸出水、健康関連微生物、細胞毒性、変異原性、水生生物、生物濃縮、生態系影響、リスク評価、指標生物、DNA マイクロアレイ、内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析、GC/MS法、LC/MS法、簡易分析、センサー、内分泌攪乱物質、金属元素、微量有機化学物質、健康関連微生物、PCR法、ハイブリダイゼーション法、バイオセンサー、培養細胞、水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/ management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー、コスト、LCA、二酸化炭素発生対策、気候変動、温暖化防止、リスク管理、アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO <sub>2</sub> emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/ International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/ overseas research 3 その他 others	環境保全活動、環境学習、地域参加、環境計画、地球環境、文化交流、技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観、都市設計 landscape/urban planning 2 地域、暮らし、歴史、伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観、都市設計、デザイン、暮らしと水、親水、行政、ホテル、文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	震災・復興 Impact of Earthquake or Tsunami/Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 その他 others	放射性物質、挙動、除去、分析など 被害、復旧、自然再生など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc damage, restoration, regeneration of nature, etc
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A～P以外 Others	1 その他 others		

注：2017年度に中分類の変更があります。選択時にはご注意ください。  
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。



## 「年会優秀発表賞（クリタ賞）」候補者の募集

第52回日本水環境学会年会において、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数のご応募を歓迎します。

**表彰の趣旨** 研究意欲の啓発を目指し、博士前期課程（修士課程）の大学院生を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

**表彰対象者** 年会において口頭発表を行う博士前期課程（修士課程）在学の学生会員に限ります。対象者以外のお申込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

**応募方法** 本会ホームページから年会研究発表を申込み時に年会優秀発表賞（クリタ賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

### 審査方法

1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。

2次審査 年会2日目午前にはポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。例年と異なり、2日目に開催です。ご注意ください。

### 結果通知および表彰等

- 1次審査結果は発表申込時に登録したE-mailアドレス宛に応募者全員に通知します。
- 2次審査結果（受賞者）は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った者には、表彰式において参加賞を授与します。
- 1次審査を通過しポスター発表を行った者全員を懇親会へ招待します。

### スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 2017年11月20日（月）応募締め切り
- 2018年1月18日（木）講演要旨原稿提出締め切り
- 2018年2月中旬 1次審査結果の通知
- 年会 2日目午前 ポスター発表による2次審査
- 年会 表彰式 2次審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

**付記** 年会優秀発表賞（クリタ賞）受賞の修士修了者は、国際会議発表助成（クリタ賞国際会議発表助成、毎年5月に募集予定）の助成候補対象となります。

### 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会  
年会優秀発表賞（クリタ賞）係  
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

## 「年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）」候補者の募集

第52回日本水環境学会年会において、学部生、高等専門学校生（高専生）、短大生を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数のご応募を歓迎します。

**表彰の趣旨** 研究意欲の啓発を目指し、学部生、高専生、短大生を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

**表彰対象者** 年会においてポスター発表を行う大学学部、高等専門学校、短期大学在学の学生会員に限ります。対象者以外のお申込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

**応募方法** 本会ホームページから年会研究発表を申込み時に年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

**審査方法** 年会初日にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

### 結果通知および表彰等

- 1) 審査結果（受賞者）は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。ライオン賞応募者は表彰式にご参加ください。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。
- 2) 受賞者を懇親会へ招待します。

### スケジュール概要（締切以降は受け付けません）

- 2017年11月20日（月）応募締め切り
- 2018年1月18日（木）講演要旨原稿提出締め切り
- 年会 初日 ポスター発表による審査
- 年会 表彰式 審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

### 問い合わせ先

（公社）日本水環境学会  
年会学生ポスター発表賞（ライオン賞）係  
Tel：03-3632-5351 E-mail：nenkai@jswe.or.jp

## 海外在住外国人会員の年会発表に対する 費用助成制度「国際招聘賞」 JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award 第52回日本水環境学会年会の 助成対象者の募集

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2018年3月に札幌で開催される平成29年度年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

#### 〈募集の手引き〉

**応募資格** 海外に在住する外国籍の個人会員および国際連携会員（<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html> 参照）で、平成29年度年会において研究発表を予定する者

入会希望者は2017年10月末日以前に日本水環境学会への入会手続きをおこなうこと

**助成内容** 年会・懇親会への招待、および年会参加のための渡航費・滞在費の一部助成（一律10万円を予定）

**助成対象** 若干名

**応募方法** 助成を希望する本人が、年会の研究発表申し込み（2017年11月20日（月）締切）の手続き後に応募書類を提出すること

**提出書類**（書式は自由）

- 応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、Tel、Fax、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文の別刷り（PDF可）および発表論文リスト）
- 発表受付番号と発表題目

**提出期限** 2017年11月21日（火）必着

**提出先**（公社）日本水環境学会 水環境国際招聘賞選考委員会

郵送の場合：〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤201号

E-mailの場合：kokusai@jswe.or.jp（@は半角）

**可否通知** 選考結果については、2017年12月末日までに応募者に通知する。

### 日本水環境学会 産官学協力委員会主催第32回見学会

本委員会では、民間企業、公的研究機関、大学との連携活動を推進しており、その一環として団体正会員を対象とした見学会などのイベントを定期的に行っております。今回は、横須賀市の追浜浄化センターの見学、海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部にて昨年就航したばかりの最新鋭の観測機器と洋上ラボを備えた海底広域研究船「かいめい」と深海研究のフロンティアを開拓し続けてきた有人潜水調査船の「しんかい6500」の見学および講演受講を予定しています。今回、横須賀本部に寄港する貴重なタイミングに見学会を開催することができましたので、多くの方のご参加をお待ちしております。

**主催** 日本水環境学会産官学協力委員会

**期日** 2017年10月23日（月）10:00～17:00

京急追浜駅10:00集合、

同駅17:00解散予定

**見学先** 追浜浄化センター、海洋研究開発機構（JAMSTEC）横須賀本部（神奈川県横須賀市）

**参加対象** 団体正会員（その他会員、非会員の方は事務局にお問い合わせください）

**定員** 40名（定員になり次第締め切らせていただきます）

**参加費** 団体正会員2,000円、非会員4,000円（税込、当日集金。駅から追浜浄化センター、JAMSTECへの往復交通費、昼食代）

**備考** 解散後に、懇親会を予定しております。（費用別途）海洋研究開発機構（JAMSTEC）で、天候状況により「かいめい」と「しんかい6500」が寄港できない場合は、船舶、無人海洋ロボット、実験施設の見学となります。

**参加申込** FaxまたはE-mailで①参加者氏名②参加者の所属先名③連絡先（所属先住所、E-mail、電話番号等）④懇親会参加の有無をご記入の上、9月29日（金）までに下記宛て申し込みください。

#### 申し込み・問い合わせ先

（公社）日本水環境学会事務局（担当：戸川）

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7

グリーンプラザ深川常盤201号

Tel：03-3632-5351 Fax：03-3632-5352

E-mail：togawa@jswe.or.jp

### 水環境分野で活躍する女性の仕事や働きぶり紹介 —日本ミクニヤ(株)訪問— 〈日本水環境学会関東支部〉

**主催** 日本水環境学会関東支部

**期日** 2017年10月25日（水）14:30～16:50

**場所** 日本ミクニヤ(株)（本社）3階大会議室  
神奈川県川崎市高津区溝口3-25-10

[http://www.mikuniya.jp/company/company\\_map\\_honsya.html](http://www.mikuniya.jp/company/company_map_honsya.html)

#### プログラム

下記の分野で活躍する女性職員による仕事内容および仕事と私生活の両立等についてのお話に加えて、日本ミクニヤ(株)における男女共同参画の取り組みなど（内容については、変更の可能性あり）

①環境調査②環境分析項目と環境現況評価③河川計画④環境影響予測（流動・水質予測）⑤その他（環境学習等）

\*エントランスで受付を済ませ、14:30までに3階大会議室にお集まりください。14:00に受付開始いたします。終了後は希望者のみの懇親会があります。詳細は関東支部のホームページ（詳細URL）をご参照ください。

**参加申し込み方法** ①参加者氏名、②会員・非会員の別、

③会員の場合は会員番号, ④連絡先(所属団体名, 住所およびTel, E-mailアドレス) ⑤懇親会の希望の有無をご記入の上, 下記申込み・問い合わせ先宛てにE-mailにてお申し込みください。

**参加申込締切** 2017年10月6日(金)

**参加費** なし(懇親会に参加される方, 4,000円程度)

**詳細URL** <http://www.jswe-kanto.com/>

**申込み・問い合わせ先**

(公社)日本水環境学会関東支部市民活動部会 三島

E-mail: [jswe.kanto.muse@gmail.com](mailto:jswe.kanto.muse@gmail.com)

### 平成29年度日本水環境学会関東支部見学会のご案内 名水の里を訪ねて ～サントリー白州蒸留所ほか～

水はすべての生命の源です。今回の関東支部見学会は、山梨県を舞台に、まず、名水を育む南アルプスの豊かな自然と歴史を体感していただきます。そして名水を用いた、職人の知恵と技による芸術品といえるウイスキーの製造工程などをたっぷりと見学します。秋の一日、美しい紅葉の中で、水の大切さ、素晴らしさを堪能してみませんか。

**主催** 日本水環境学会関東支部

**期日** 2017年10月27日(金) 10:00～16:00頃

**場所** ①大滝湧水公園(山梨県北杜市)

②サントリー白州蒸留所(山梨県北杜市)

**集合場所** 10:00にJR中央本線/小海線・小淵沢駅改札前にお集まりください。(解散場所も同じです。)

※本見学会の詳細は、関東支部のホームページ(<http://www.jswe-kanto.com/>)でもお知らせいたします。

**内容** 小淵沢駅(集合)→大滝湧水公園(見学)→サントリー白州蒸留所(自由昼食の後、ウイスキーの蒸留所と南アルプスの天然水の工場の見学(解説付き))→小淵沢駅(解散)

**定員** 30名(先着順)

**参加費** 会員(個人会員・団体会員・賛助会員):1,000円, 非会員:2,000円, 学生:無料

※当日現地支払いです。

**申込締切り** 2017年10月16日(月)

**申し込み方法** ①参加者氏名, ②会員・非会員の別, ③会員の場合は会員番号, ④連絡先(所属団体名, 住所およびTel, E-mailアドレス)をご記入の上, 下記宛てにE-mailにてお申し込みください。

**申し込み・問い合わせ先**

日本水環境学会関東支部企画部会見学会担当

E-mail: [jswe.kanto.kikaku@gmail.com](mailto:jswe.kanto.kikaku@gmail.com)

### 2017年度日本水環境学会東北支部セミナー 福島県の水環境問題と その課題解決に向けた取り組み

**主催** 日本水環境学会東北支部

**期日** 2017年11月3日(金)～4日(土)

**場所** 東北支部セミナー:郡山駅西口ビッグアイ 市民交流プラザ, 現場体験:猪苗代湖 天神浜

**プログラム**

11月3日(金)

13:00 開会の挨拶

13:05～ 「猪苗代湖, 水質日本一復活を目指して  
～現状と取り組み～」

(NPO輝く猪苗代湖をつくる県民会議  
中村玄正)

13:40～ 「福島県西郷村堀川ダムにおける特定外来生物ウチダザリガニの駆除活動とウチダザリガニを資源として活用するための試み」  
(福島大学共生システム理工学類 塘忠顕)

14:15～ 「福島県広野町の現状と水環境(仮)」  
(福島工業高等専門学校 高荒智子)

休憩

15:00～ 「被災地における放射線性物質汚染からの回復に向けた取り組み」

(国立研究開発法人国立環境研究所 林誠二)

15:35～ 「被災地における放射性物質と水産資源の現状」

(福島県内水面水産試験場 川田暁)

16:10～ 「池沼の放射性物質対策工事の実際」

(小柳建設株式会社 本田玄基)

16:40～ 閉会の挨拶

11月4日(土)

10:00～12:00 水草回収活動現場体験

※11月4日は郡山駅前から往復の送迎バス(予定)

**参加費** 11月3日(金)の支部セミナーは無料です

**備考** 11月3日(金)の支部セミナー後に、情報交換会を予定しております(費用別途)。

11月4日(土)の水草回収活動現場体験後に、磐梯熱海温泉に移動して慰労会(昼食&入浴)を予定しております(費用別途)。

**申込方法** 参加者の氏名, 所属, 連絡先(Tel, E-mailアドレス), 情報交換会・水草回収活動現場体験・慰労会の参加の有無をご記入の上, 10月27日(金)までにE-mailでお申し込みください。

**詳細URL** <http://jswetohoku.web.fc2.com/>

<http://inawashiro-mizukankyo.com/>

**問い合わせ・申し込み先**

(公社)日本水環境学会東北支部セミナー事務局

中野和典

〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1  
日本大学工学部  
Tel: 024-956-8719 Fax: 024-956-8858  
E-mail: knakano@civil.ce.nihon-u.ac.jp

### 第23回地下水・土壌汚染と その防止対策に関する研究集会

本研究集会は地下水・土壌汚染の実態・原因・経路の調査から、汚染物質の移動機構の解明、汚染による影響やリスクの評価、汚染の防止対策・修復技術・修復評価、地質等に起因する自然由来の汚染や放射性物質による汚染に関する様々な課題についての国内最大規模の研究集会として、研究成果や事例発表、意見交換や技術交流、人材育成や学習の場としての機能を果たして参りました。毎年、100件を超える研究発表等や特別講演、企業展示などが行われ、大勢の方々にご参加いただいております。

このたび第23回の研究集会を下記のとおり開催することとなりました。今回は、公開シンポジウム「地下水・土壌汚染対策による土地・水資源の利活用と地域振興に向けて」や沖縄県における地下水および土壌汚染関連の現地見学会も企画しておりますので、多くの皆様に、ご発表やご参加を頂きますようご案内申し上げます。

**主催** 日本地下水学会（主管学会）、日本水環境学会、  
廃棄物資源循環学会、地盤工学会、  
土壌環境センター

**期日** 2017年11月9日（木）～12日（日）

**場所** 沖縄県男女共同参画センター「ていりる」  
大ホール他（沖縄県那覇市西3-11-1）

**内容（予定）**

11月9日（木）、11月10日（金）

口頭発表とポスター発表とを組み合わせた研究発表、  
企画シンポジウム、企業展示他

11月10日（金）懇親会

11月11日（土）公開シンポジウム

11月12日（日）現地見学会

※内容は変更になることもありますので土壌環境センターのHP（詳細URL）で確認ください。

**参加申し込み方法** 土壌環境センターのHP上で必要事項を入力してお申し込みください。（詳細URL）

**事前参加申込締切** 2017年10月6日（金）

**参加費** 一般：9,000円（11,000円）

学生：3,000円（4,000円）

懇親会会費：5,000円（6,000円）

※括弧内は当日受付の場合

**詳細URL** <http://www.gepc.or.jp/kenkyu/23rd/>

**問い合わせ先** 第23回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会事務局 久保木  
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5  
KSビル3階

（一社）土壌環境センター内  
Tel: 03-5215-5955 Fax: 03-5215-5954

### IWA 関連行事

### The IWA World Water Congress & Exhibition IWA 世界水会議（IWA2018 TOKYO）

**主催** IWA（International Water Association）

**期日** 2018年9月16日（日）～21日（金）

**場所** 東京ビッグサイト（東京）

**発表申込（アブストラクト提出）期限**：2017年10月1日

**発表申込** HP（<http://worldwatercongress.org/>）から  
申し込んでください。

### IWA 2018 参加登録費助成予定のお知らせ

IWA 2018 TOKYO における研究発表者に対して会議参加登録費の助成を予定しています。地方の試験研究機関の会員や若手研究者など、国際会議への参加が難しかった方々が、IWA2018に奮って発表応募されることを期待しております。助成応募要項等の詳細は今後の学会誌会告、本会ホームページ等にて追ってお知らせいたします。

**助成内容** 会議参加登録費の全額または半額

**助成人数** 10名程度（予定）

### 他学会関連行事

### 第5回 初歩からの化学工学概論・演習講座

**主催** 化学工学会東海支部

**協賛** 日本水環境学会他

**日時** 2017年9月27日（水）～29日（金）10:00～17:30

**会場** 名古屋駅前イノベーションハブ

9月27日（水）（1日目）静岡大学 立元雄治  
10:00～12:00 単位と次元、13:15～15:15 プロセス変数、15:30～17:30 状態方程式

9月28日（木）（2日目）静岡大学 前澤昭礼  
10:00～12:00 物質収支の基礎、13:15～15:15 複雑なプロセスの物質収支、15:30～17:30 エネルギーの基礎

9月29日（金）（3日目）静岡大学 福原長寿、武田和宏  
10:00～11:30 エネルギー収支、11:45～13:15 反応系のエネルギー収支、14:15～17:30 化学プロセスの基礎、計算

**参加費**（テキスト代・消費税を含む）定員：40名

正会員 25,000円、法人会員会社社員 30,000円、

会員外 60,000円、学生 10,000円

\*協賛団体会員は本会会員価格に準じます。

**問い合わせ先** 公益社団法人 化学工学会東海支部

Tel: 052-231-3070 URL: <http://scej-tokai.org/>

### 第 32 回市民環境学校『水道技術講座 (7)』

**主催** NPO 法人グリーンサイエンス 21  
**協賛** 日本水道協会・全水道会館 水情報センター  
**期日** 2017 年 10 月 6 日 (金)  
**場所** 全水道会館 JR 水道橋駅から徒歩 5 分  
**プログラム**  
 13:30 開催の挨拶 坂本 弘道氏  
 13:40 講演「浄水における活性炭の基礎知識」  
 北海道大学大学院工学研究院環境創生工学  
 部門 教授 松井佳彦氏  
 14:50 報告「浄水場現場における問題点とその対応策」  
 千葉県水道局 水質センター  
 次長 坪倉 隆氏  
 15:50 〈質疑応答, 情報交換, 地方の現場からの質問〉  
 17:00 閉会の挨拶 (次回の予告など)  
**申し込み方法** 詳細 URL 参照  
**参加申込締切** 定員になり次第締め切り  
**参加費** 一般 3,000 円, (GS21 会員) 1,000 円  
**詳細 URL** <http://www.npo-gs21.org/>  
**問い合わせ先** NPO 法人グリーンサイエンス 21  
 〒165-0023 東京都中野区江原町 2-24-7  
 留守電/FAX : 03-3952-1121  
 E-mail : nkaiga@y2.dion.ne.jp

### アクア・イノベーション拠点 第 5 回シンポジウム in Tokyo

**主催** アクア・イノベーション拠点, 信州大学  
**期日** 2017 年 11 月 9 日 (木) 11:00~16:30  
**場所** 一橋講堂 (〒101-8439 千代田区一ツ橋 2-1-2)  
**プログラム**  
 11:00 開会あいさつ 上田新次郎 PL (日立製作所)  
 11:10 ごあいさつ 佐藤順一 COIV3・VL (JST)  
 濱田州博学長 (信州大)  
 11:20 発表① 木村陸教授, 手島勝弥教授 (信州大)  
 13:00 発表② 遠藤守信 RL (信州大) ほか 5 人  
 15:10 パネル討論~社会実装に向けて  
 モデレータ: 上田新次郎 PL (日立製作所)  
 パネリスト: 田中厚志教授 (信州大学)  
 ほか 4 人  
 16:25 閉会あいさつ 遠藤守信 RL (信州大)  
 それ以外は以下詳細 URL をご参照ください  
**申し込み方法** 名前, フリガナ, 所属, 役職, 電話番号,  
 メールアドレスを明記し, coi\_info@shinshu-u.ac.jp  
**参加申込締切** 2017 年 10 月 31 日 (火)  
**参加費** 無料  
**詳細 URL** <http://www.shinshu-u.ac.jp/coi/news/2017/07/coi5-in-tokyo.php>  
**問い合わせ先** アクア・イノベーション拠点支援課

〒380-8553 長野県長野市若里 4-17-1  
 Tel : 026-269-5771 Fax : 026-269-5710  
 E-mail : coi\_info@shinshu-u.ac.jp

### 日本水処理生物学会第 54 回大会 (大阪大会)

**主催** 日本水処理生物学会  
**期日** 2017 年 11 月 8 日 (水) ~10 日 (金)  
**場所** 大阪大学吹田キャンパス銀杏会館  
 (〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2)  
**プログラム**  
 シンポジウム「植物を利用した水環境の保全・修復」,  
 水道生物研究集会「関西における生物障害事例 (特に河  
 川について) (仮題)」, 排水・環境水研究集会「オミクス  
 技術の水処理生物研究への適用の可能性 (仮題)」(8 日),  
 研究発表 (ベストプレゼンテーション審査), 総会, 懇親  
 会 (9 日), 研究発表 (10 日)  
**申し込み方法** 大会 HP の申込システムで登録  
**原稿締切** 2017 年 8 月 31 日 (木)  
**参加費** 一般会員 8,000 円 (8 月 1 日以降), 非会員 8,000 円  
**詳細 URL** <http://www.jswtb.jp/annual/>  
**問い合わせ先**  
 日本水処理生物学会第 54 回大会事務局  
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1  
 大阪大学大学院工学研究科環境・エネル  
 ギー工学専攻  
 Tel : 06-6879-7673 Fax : 06-6879-7675  
 E-mail : jswtb54@see.eng.osaka-u.ac.jp

### 2017 International Environmental Engineering Conference (IEEC 2017)

**主催** 大韓環境工学会 (KSEE)  
**期日** 2017 年 11 月 15 日 (水) ~17 日 (金)  
**場所** International Convention Center (ICC) Jeju  
**詳細** <http://www.ieec2017.org/>

### 日本腐植物質学会第 33 回講演会

**主催** 日本腐植物質学会  
**期日** 平成 29 年 11 月 16 日 (木) ~17 日 (金)  
**場所** 山口大学 吉田キャンパス (大学会館)  
**プログラム**  
 一般講演 (口頭およびポスター), テーマ講演 (11 月 16  
 日 (木) 午後の予定), 総会, 懇親会 (11 月 16 日 (木))  
 テーマ講演: 「腐植物質研究における数理統計学的手法の  
 活用」それ以外は以下詳細 URL をご参照  
 ください。  
**参加申し込み方法** 発表・参加は下記へ E-mail, ハガキ,  
 Fax にてお申し込みください。  
**講演申込締切** 2017 年 10 月 1 日 (日)  
**参加申込締切** 2017 年 10 月 30 日 (月)

**参加費** 会員 2,500 円, 非会員 5,000 円 (要旨集代を含む)  
**詳細 URL** <http://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-soil/jhss/>  
**問い合わせ先**

日本腐植物質学会 (第 33 回日本腐植物質学会講演会実行委員会 柳 由貴子)  
〒753-8515 山口県山口市吉田 1677-1  
山口大学農学部  
Tel/Fax : 083-933-5836  
E-mail : [yyanagi@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:yyanagi@yamaguchi-u.ac.jp)

### 第 23 回膜分離技術セミナー

**主催** 膜分離技術振興協会  
**期日** 2017 年 11 月 21 日 (火) 10 時~17 時  
**場所** 東実健保会館・第二会議室  
東京都東京都中央区東日本橋 3-10-4

#### プログラム

これから膜分離技術に携わる方々や現在, 膜分離技術に携わっている現場技術者の方々を対象に, 膜および膜分離技術の基礎と応用をわかりやすく解説するセミナーです。

#### 申し込み方法

下記宛に Fax または E-mail でお申込みください。確認後, 参加証・請求書などをお送りします。

**参加申込締切** 2017 年 11 月 16 日 (木)

**参加費** 膜分離技術振興協会会員企業 10,000 円, 非会員企業 12,000 円, 地方自治体および学生 5,000 円

**詳細 URL** <http://www.amst.gr.jp>

#### 問い合わせ先

一般社団法人膜分離技術振興協会  
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-12-11  
Fax : 03-6712-0192 E-mail : [info@amst.gr.jp](mailto:info@amst.gr.jp)

### 第 17 回上下水道膜セミナーおよび膜処理施設見学会

**主催** 一般社団法人膜分離技術振興協会  
**日時** ①第 17 回上下水道膜セミナー  
2017 年 12 月 7 日 (木) 13:00~17:00  
天草市民センター  
(熊本県天草市東町 3 番地 Tel : 0969-22-4125)  
②膜処理施設見学会  
2017 年 12 月 8 日 (金) 10:00~15:00  
上津浦浄水場および高浜浄化センター  
(熊本県天草市)

#### プログラム

浄水膜の種類と開発の歴史/水道用浄水膜の制度 AMST 規格について/膜処理技術の研究開発 (仮題) /国内外における水道用浄水膜の実用例/「省エネ型膜ろ過浄水施設導入手引き (事例集)」の紹介/下排水処理関連の膜技術の動向について

**参加費** 会員 12,000 円, 非会員 14,000 円, 国・地方自治体 6,000 円, 学生 4,000 円 (見学マイクロバス代・昼食代含む)

**定員** 50 名 (定員になり次第締め切り)

**申込方法** 下記宛に Fax または E-mail でお申込みください。確認後, 参加証・請求書などをお送りします。

**申込締切** 2017 年 11 月 30 日 (木)

#### お問い合わせ・申し込み先

一般社団法人膜分離技術振興協会  
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-12-11  
東日本橋 TS ビル  
Fax : 03-6712-0192 E-mail : [info@amst.gr.jp](mailto:info@amst.gr.jp)  
URL : <http://www.amst.gr.jp>

### 第 44 回炭素材料学会年会

**主催** 炭素材料学会  
**協賛** (順不同, 予定) エネルギー・資源学会  
**期日** 2017 年 12 月 6 日 (水) ~2017 年 12 月 8 日 (金)  
**場所** 桐生市市民文化会館  
(〒376-0024 群馬県桐生市織姫町 2-5)

#### プログラム

今年の特別セッションのテーマは「エネルギー変換を指向した炭素調製の科学」です。共催, 協賛学会会員であれば, 炭素材料学会の会員以外でも講演することができます。英語での発表はすべて国際セッションになります。本セッションは招待講演と一般講演で構成されます。発表および要旨の言語が英語となります。上記セッションへの多数のご参加をお願いいたします。

**申し込み方法** HP より参加申し込みシステムにて登録

**参加申込締切** 2017 年 11 月 9 日 (木)

**参加費** 詳細 URL をご覧ください。

**詳細 URL** <http://www.tanso.org/contents/event/conf2017/>

#### 問い合わせ先 炭素材料学会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5  
Tel : 03-3362-9743 Fax : 03-3368-2827  
E-mail : [tanso-desk@bunken.co.jp](mailto:tanso-desk@bunken.co.jp)

## おしらせ

### 平成 29 年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦, 他薦は問いません。詳細は以下, 学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2018 年 3 月の日本水環境学会第 52 回年会 (北海道大学: 札幌市) 表彰式 (3 月 16 日) にて表彰状および副賞が授与されます。たくさんのご応募をお待ちしています。

**被推薦資格** 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

**応募方法** 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、活動を示す書類と併せて以下の提出先に送付ください。なるべく、以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、Tel番号、E-mailアドレス
- 2) 活動概要(300字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など(200字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由(500字程度)
- 6) 推薦者の氏名、住所、所属、Tel番号、E-mailアドレス(自薦も可)

応募書類の作成に当たっては、当学会の支部にご相談頂けます。支部の連絡先は、以下、学会事務局にお問い合わせください。

**提出期限** 2017年10月5日(木)(必着)

**提出・問い合わせ先(学会事務局)**

(公社)日本水環境学会「水環境文化賞」係  
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤201号  
Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352  
E-mail: info@jswe.or.jp

### 平成29年度「水環境文化賞児童・生徒の部(みじん子賞)」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部(みじん子賞)は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。本年度は年会開催地である北海道から選考されます。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は2018年3月の日本水環境学会第52回年会(北海道大学:札幌市)表彰式(3月16日)にて表彰状および副賞が授与されます。たくさんのご応募をお待ちしています。

**被推薦資格** 地域の水環境保全・創出に努力している小学生、中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

**応募方法** 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下1)～6)の必要事項を記入の上、活動を示す書類と併せて以下の提出先に送付ください。なるべく、以下のE-mailへの電子ファイルでの提出をお願いします。評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名、連絡先住所、Tel番号、E-mailアドレス
- 2) 活動概要(300字以内)

3) 対象とする社会文化活動

4) 広報活動など(200字以内)

5) 推薦者の推薦理由(500字程度)

6) 推薦者の氏名、住所、所属、Tel番号、E-mailアドレス(自薦も可)

応募書類の作成に当たっては、当学会の支部にご相談頂けます。支部の連絡先は、以下、学会事務局にお問い合わせください。

**提出期限** 2017年10月5日(木)(必着)

**提出・問い合わせ先(学会事務局)**

(公社)日本水環境学会「水環境文化賞」係  
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7  
グリーンプラザ深川常盤201号  
Tel: 03-3632-5351 Fax: 03-3632-5352  
E-mail: info@jswe.or.jp

### 金沢大学サステナブルエネルギー研究センター テニユアトラック助教(女性限定)の公募

**募集人員** テニユアトラック助教, 1名

**所 属** 金沢大学サステナブルエネルギー研究センター

**専門分野** 環境工学

**応募資格** 着任時に博士の学位を有する女性研究者。環境工学に関する教育と研究に携わるのに十分な知識と意欲を有すること。サステナブルエネルギー研究センターの国際展開に貢献できる十分な英語能力を有すること。

**採用予定日** 2017年12月1日(金)

**応募方法** 以下詳細URLをご参照ください。

**応募期限** 2017年9月29日(金)必着

**詳細URL** [http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/collegeschool/20\\_se/helpwanted/20170929\\_tt\\_rset.pdf](http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/collegeschool/20_se/helpwanted/20170929_tt_rset.pdf)

**問い合わせ先**

金沢大学理工研究域サステナブルエネルギー研究センター 池本 良子  
〒920-1192 石川県金沢市角間町  
Tel: 076-234-4641  
E-mail: rikemoto@se.kanazawa-u.ac.jp

(公社) 日本水環境学会運営組織 (平成 29 年度)

<p>会 長 小野 芳朗</p> <p>副会長 松井 佳彦 初又 繁 西嶋 涉</p> <p>常務理事 岸本 直之</p>	<p>総務担当理事 中島 典之</p> <p>財務担当理事 亀屋 隆志</p>	<p>総財務特別委員会 藤原 拓</p> <p>運営幹事 井坂 和一, 越後 信哉, 大河内由美子, 小熊久美子, 春日 郁朗, 鎌田 素之, 蒲池 一将, 栗栖 太, 下ヶ橋雅樹, 佐藤 久, 佐野 大輔, 田畑 彰久, 寺田 昭彦, 中井 智司, 西村 文武, 長谷部吉昭, 濱 武英, 日高 平, 古屋 勇治, 松下 拓, 見島 伊織, 山村 寛, 渡辺 幸三</p>			
	<p>表彰委員会 初又 繁</p> <p>編集関連表彰担当理事 池 道彦</p>	<p>論文賞および論文奨励賞選考委員会 藤原 拓</p> <p>年間優秀論文賞選考委員会 藤原 拓</p> <p>技術賞および技術奨励賞選考委員会 初又 繁</p> <p>水環境文化賞選考委員会 江口 正浩</p>			
		<p>支部担当理事 池本 良子</p>	<p>支部連絡委員会 池本 良子</p>		
		<p>広報・渉外担当理事 高梨 啓和</p>	<p>広報委員会 高梨 啓和</p>		
		<p>編集担当理事 藤原 拓</p>	<p>編集委員会 藤原 拓</p>	<p>「水環境学会誌」特集企画編集部会 渡邊 智秀</p> <p>「水環境学会誌」原著論文編集部会 池 道彦</p> <p>JWET 部会 佐藤 弘泰</p>	
	<p>産官学担当理事 江口 正浩</p>	<p>産官学協力委員会 江口 正浩</p>			
	<p>研究企画担当理事 西嶋 涉</p>	<p>研究企画委員会 西嶋 涉</p>	<p>セミナー企画部会 西村 文武</p>		
	<p>年会・研究委員会担当理事 清 和成</p>	<p>年会・シンポジウム等検討委員会 清 和成</p>	<p>年会実行委員会</p>		
			<p>シンポジウム実行委員会</p>		
			<p>WET 実行委員会</p>		
			<p>WET 部会 渡辺 幸三</p>		
	<p>男女共同参画推進担当理事 池本 良子</p>	<p>男女共同参画推進委員会 池本 良子</p>			
	<p>戦略企画担当理事 西嶋 涉</p>	<p>戦略企画委員会 西嶋 涉</p>			
	<p>国際担当理事 松井 佳彦</p>	<p>国際委員会 松井 佳彦</p>	<p>IWA 国内委員会担当</p> <p>IWA-WWC2018 担当</p>		
		<p>派遣・招聘委員会 松井 佳彦</p>			
<p>水環境国際活動賞・招聘賞選考委員会 松井 佳彦</p>					
<p>事務局 事務局長 (小川かほる) 職員 (窪田 葉子, 戸川 朋恵)</p>					

※理事, 幹事, 部会長, 各種委員はすべて非常勤であり, 無報酬である。

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は, 国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。 <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>